

(様式4号)

まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和6年9月17日

茨城まちづくりセンター
運 営 委 員 長 殿

報告者(主催者) 日立市都市政策課

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	令和6年9月13日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
主催者の名称	日立市 都市政策課
講演会等の名称	日立駅前の更なる賑わいづくりに向けた取組内容の検討
アドバイザー氏名	内山氏
実施場所	cafe焙煎所諏訪ひまわり
参加者数	15名
講演内容(具体的に詳しく記入して下さい。) 【演題】 日立駅前の更なる賑わいづくりに向けた取組内容の検討 【内容】 ・令和5年度 地域主体の「日立駅前歩きたくなるまちづくり」の実現に向け、認定NPO法人日本都市計画家協会のプログラム(講師:(株)アルメック内山氏)を活用し、令和5年12月から令和6年2月にかけて合計3回の出前講座を行い、令和6年2月23日に道路や広場などの公共空間を活用したワークショップを実施した。 ・令和6年度 令和6年4月11日には、県アドバイザー派遣制度を活用し、令和6年2月23日に実施したワークショップの振り返りを行い、課題や問題点を再確認したところである。 また、令和6年7月10日に地域住民・商店会・企業・大学・行政関係者が集まり、まちづくりのビジョンの方向性や、次回のワークショップに係る意見交換を行った。 今回の本検討会では、前回の意見交換の結果を踏まえ、まちづくりのビジョンを作成する上での活動範囲や、次回のワークショップ(令和6年12月予定)での具体的な取組内容について協議を行った。 まちづくりアドバイザーには、まちづくりのビジョンを作成する上での注意点や、他市町村でのワークショップの事例についてご教示いただき、本検討会が円滑に進められるように補助していただいた。	

感想など

1 まちづくりのビジョンについて(前半)

まちづくりのビジョンを作成する上での活動範囲を計画するため、まちの出発点や動線軸、拠点となる場所の抽出等を行った。

【主な意見】

- まちの出発点は日立駅になると思う。
- まちの拠点となる場所には、日立市役所・新都市広場・パティオモール商店街等が考えられるため、日立駅から当該拠点を結んだ所を活動範囲にするのが良いと思う。
日立セメント工場や中小路小学校等の跡地もまちづくりの拠点となる可能性がある。

2 次回のワークショップでの取組内容について(後半)

12月に実施する次世代モビリティの実証実験とあわせて実施する、まちのにぎわいづくりのイベントに向けた取組内容について協議した。

【主な意見】

- 日立駅から新都市広場・パティオモール商店街の範囲の中に各ブースを設置し、次世代モビリティやビアバイク等で回遊できる内容が良いと思う。
- ワークショップに来場した子ども達がチョークでまちなかに線路を書き、次世代モビリティが線路上を走る取組を行いたい。
- 来場者が日立駅周辺における将来の理想像(出店して欲しいお店等)を地図上に書き込んだものをマッピングして作成した、バーチャル空間データを示したい。

【各取組(案)】

- ・水の広場(パティオモール内)でピザ配り
- ・自動運転等の最先端技術を用いた機械の展示(自動草刈り機等)
- ・テントサウナ、足湯の設置
- ・鉾山電車を再現して作成した列車の実走
- ・ロゲイニングによる写真スポット等の設置
- ・ドローンによる花火

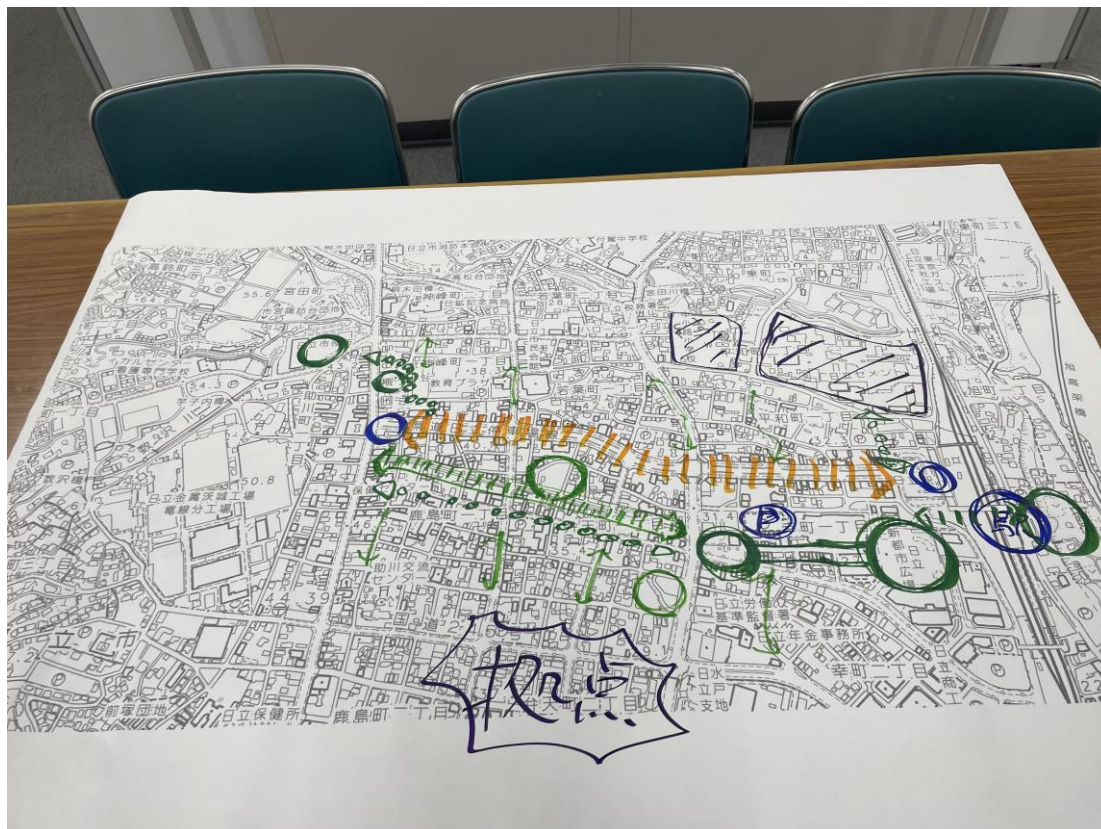
まちづくりのビジョンや、次回のワークショップ(令和6年12月予定)に向けて、様々な方向性から協議を行うことができた。

以上

本検討会の様子



1 まちづくりのビジョンについて(前半)



2 次回のワークショップでの取組内容について(後半)

